

令和2年度南部町教育行政主要施策の点検・評価

教育方針・主要な施策	意見	点検・評価委員会の質問、事務局回答
<p>1. コミュニティ・スクールを基盤とする保・小中一貫教育を推進するとともに、地域と協働した「まち未来科」の学びを充実・発展させます。</p> <p>(1) 中学校区コミュニティ・スクールの推進</p> <p>(2) 保育園年長児からの「まち未来科」(10年プログラム)の実践と検証</p> <p>(3) 4者対話による学校づくり会議の実施</p> <p>(4) 「協同学習」の充実</p>	<p>○R3 協働活動統括推進の活躍に期待しています。</p> <p>○中学校区コミュニティ・スクールに各地域振興協議会から役員として参加してもらえないか。</p> <p>○4者対話による学校づくり会議は学年の始めと、学年末の2回開催は必要と思う。</p> <p>○ALT との授業以外での場面での交流活動を通して、積極的に外国語でコミュニケーションを図ろうとする生徒児童が増えた(P10)とあり空間環境への配慮を評価する。</p> <p>○1. とても良い取り組みと思います。今後さらなる充実に期待しています。</p> <p>○(3)に関してさらなる充実した会議が開催されますように。(単なる報告ではなく)</p> <p>○SANチャンネルで「まち未来会議」の様子を拝見し、中学生の発言がしっかりしてきたなど嬉しく思いました。今後のさらなる取り組みに期待し、町の発展につながっていくことを楽しみにしています。</p> <p>○中学校区コミュニティ・スクールにはまだ課題もありますが、小中一貫した取り組みも含めて、今後一層の進展を期待します。</p> <p>○「まち未来会議」のスタイルが変わり、より意見交換を活発に行い会議のねらいに近づいているように思いました。</p>	<p>○協働活動統括推進の人数(どんな人)活動内容</p> <p>→(事務局回答)協働活動統括推進員は1名で元南部町立学校校長です。CSや「まち未来科」の充実のため、本町CSの方向性を示したり、各校に配置している地域学校協働活動推進員(旧地域コーディネーター)に指導・助言を行ったりします。</p> <p>○未来を切り拓く人材育成事業 終了?</p> <p>→(事務局回答)目的や内容を変更し「青年団活性化事業」に移行しました。</p> <p>○保小中連携推進事業</p> <p>⇒令和3年度特別支援教育コーディネーター配置事業…人材重視?</p> <p>→(事務局回答)わかりやすい事業名に変更しました。</p> <p>○現在コミュニティ・スクールに係わってもらえる方々の発掘は、どのようにされているか。</p> <p>→(事務局回答)校長、会長と連携して行っています。</p> <p>○パソコン・タブレットの整備により授業がどのように変わったのか。教師側の負担の実態はどうか。</p> <p>→(事務局回答)個人の意見をより広く拾い上げることが可能になるとともに、話し合いやまとめの時間を長く確保できるようになりました。</p> <p>→(事務局回答)導入初期段階の現在は、ICTを活用した指導法や教材研究の面で負担は増える傾向がある一方、採</p>

		<p>点業務などの面で負担軽減が図られています。</p> <p>○(4)「協同学習」の充実とは？</p> <p>→(事務局回答)各中学校区で研修会をもち、主体的な学びを促す授業づくりをしていきます。また、ともに学ぶという理念のもと、学級全体に支持的な人間関係が育まれていきます。</p> <p>○保育園年長児からの「まち未来科」は、例えばどのような実践内容ですか？又、保護者の反応はどうですか？</p> <p>→(事務局回答)年長児の「まち未来科」は、子どもの「遊び」を、「まち未来科」で育みたい4つの力の視点で捉えるものです。例えば、友達と力を合わせて「ゆうびんやさんごっこ」をすることは、「人間関係調整力」の育みにつながります。保育者の捉えですので、園では保護者への周知を積極的に行っておりません。</p>
<p>2. 子ども達が安心して学び、お互いに認め合い、高め合える保育・教育に取り組めます。</p> <p>(1) 不登校の未然防止、いじめ根絶に向けた取り組みの充実</p> <p>(2) 保・小中一貫した人間関係づくり学習の推進</p> <p>(3) 縦横のネットワーク</p>	<p>○R3 スクールソーシャルワーカーを活用してチームで働きかける体制に期待しています。</p> <p>○南部町家庭教育支援チームとスクールソーシャルワーカーとの協力体制(P7)に大いに期待し、評価する。</p> <p>○少人数学級編成については、町の負担も多いが、先生方の指導が行き届きやすくなり、評価している。少人数学級編成が通常になるよう関係機関への働きかけも継続してお願いしたい。</p> <p>○不登校の問題は大きな課題で、関係者のご苦労は大変なものと理解します。スクールソーシャルワーカーの活用はとても大切ですが、もっと子どもの身近に相談できる人と場所があるべきと思います。それは各学校に必要なではない</p>	<p>○左記はどんなチームになるのでしょうか？</p> <p>→(事務局回答)学校、保健師、健康福祉課、民生児童委員、社会福祉協議会、子育て支援課、福祉事務所、放課後児童クラブ、児童相談所、障がい者支援センター等、その時に必要な人材でチームとなります。</p> <p>○ハイパーQUは全学年、毎年実施するのか。状況を各保護者に伝えるのか。</p> <p>→(事務局回答)全学年、毎年実施しています。校内で結果を共有し、児童生徒理解、学級経営改善に生かしており、個々の保護者に伝えておりません。</p> <p>○不登校の児童生徒が昨年より増えているが年度をまたいでの者がいるのか。</p>

<p>による子ども支援体制づくり</p> <p>(4) 食育のビジョンづくりと実践</p> <p>(5) 学校給食調理業務委託事業</p> <p>(6) 食物アレルギーへの適正対応</p> <p>(7) 給食費の滞納処理</p> <p>(8) 給食センター施設・設備の改善</p> <p>(9) 学校給食センター運営委員会の開催</p>	<p>でしょうか。</p> <p>○食育に取り組んでの子どもの変化、家庭の変化等があれば、一般町民にも知らせていただく機会があればよいと思います。</p>	<p>→（事務局回答）令和元年度から中学生は12名中7名が継続、小学生は7名全員新規です。令和3年度も引き続き不登校の児童生徒は7名です。</p> <p>○学習支援員は必要不可欠な人材とあったが、安定的な雇用システムはないか。</p> <p>→（事務局回答）会計年度任用職員制度を導入し、一定の身分保障が図られましたので現状のままといたします。</p> <p>○学校司書は調べ学習に必要な情報活用能力を育成するために必要な人材である。司書自身の能力向上のためにも安定的な身分保障が必要と考えている。正規雇用の職員への見通しはいかが。</p> <p>→（事務局回答）学校司書は、公共図書館司書も含めて配置を考える必要があるとともに、学習支援員同様、会計年度任用職員制度を導入し、一定の身分保障が図られましたので現状のままといたします。</p> <p>○（1）具体的に現状どう取り組まれているのか？</p> <p>→（事務局回答）ハイパーQU・生活アンケート・カウンセリング週間等の実施により、児童生徒の実態把握・変化のみとりに努めています。また、スクールソーシャルワーカーによるチームで対応する体制の構築、スクールカウンセラーによるカウンセリング等により、早期対応・解決に取り組んでいます。</p> <p>○各小・中学校の残飯の状況はどうか？</p> <p>→（事務局回答）牛乳、野菜と魚のおかず、ご飯が残る傾向にあります。残飯を減らすため、給食委員会が完食をめざして活動したり、苦手な食べ物と向き合う方法や日本の</p>
--	---	--

		<p>食品ロスについて学んだりしています。</p> <p>○以前から取り組んでおられる食育の成果はどのような状況ですか？又、食育のビジョンづくりとは、どのようなことをめざしておられますか？</p> <p>→（事務局回答）「おにぎり給食」や「弁当の日」の取組が定着してきており、「作る楽しさを知った」「お弁当作りの大変さを知り、感謝しながら食べるようになった」との声が聞かれています。食育ビジョンでは、食育を通して子ども達に最終的にどうなしてほしいのか明確にし、それを学校や家庭、地域と共有したいと思います。</p> <p>○不登校対策は重要課題としてしっかりと取り組まれていることと思います。ただ、年々増加傾向にあることが気になります。児童・生徒の教育支援センターの利用状況はどうでしょうか。</p> <p>→（事務局回答）令和2年度、教育支援センターに通級の申込があったのは児童3名、生徒6名でした。自然と触れ合う活動、ものづくり、運動などを行い、学校復帰へのエネルギーを蓄えていきました。</p>
<p>3. 0歳からの保育の質を高め、保育と学校教育のつながりを強化するとともに子どもが育つ地域環境の整備をすすめます。</p> <p>(1) 保育士研修の充実 (2) 園の経営マネジメン</p>	<p>○保育と学校教育のつながりを強化することは必要だと思う。</p> <p>○西伯小において、レインコート購入希望者が少ないが申し込み時の変更を検討されてはどうか。</p> <p>○研修されたことが日々の保育に生かされ、保育が変わる気づきで先生が変わる内容であることを願います。</p> <p>○年々支援を要する児童が増えているように感じています。就学支援の保・小の連携強化と引継ぎの充実を図</p>	<p>○保育に教育的要素を増やすことになりますか。幼稚園的？</p> <p>→（事務局回答）「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を園と学校が共有することを重視しています。本町では「南部町幼児期の終わりまでに育ってほしい25の姿」として保育要録に記載し、つながりの強化の1つとしています。</p> <p>○幼児教育・保育専門員2人の前年度決算額では報酬で</p>

<p>トの確立</p> <p>(3) 研究保育の推進</p> <p>(4) 関連部局・機関との 就学支援連携強化</p> <p>(5) 保小引き継ぎの充実</p>	<p>り、個々の児童への入学後の適切な学習指導ができるようにしていただきたい。</p>	<p>あったものが本年度決算額では報酬と給料に分かれていた。なぜこの違いができたのか。活動の違いも生じてきたのか。</p> <p>→（事務局回答）会計年度任用職員制度導入により、フルタイム勤務が給料に変更となりましたが、活動の違いはありません。</p> <p>○校地内の樹木の剪定は業者に委託なのか。</p> <p>西伯小体育館横の大木はシンボルツリーとしては魅力的だが、少々倒木時の影響を心配している。</p> <p>→（事務局回答）剪定は業者に委託しています。西伯小では、体育館横の大木以上にヤナギの木の倒木が心配され伐採を行いました。大木については、専門業者に確認を依頼します。</p> <p>○デジタル教科書の使用状況は</p> <p>→（事務局回答）指導者用デジタル教科書を、小学校は国語・算数・社会、中学校は数学・理科・英語を導入し、ほぼ毎時間使用しています。</p> <p>○南中・法中がマリンバ・コンサートビブラホンをそれぞれ選定したのに理由があるか。</p> <p>→（事務局回答）学校の年次計画に基づいて購入しています。令和3年度は、法中がフル・ダブル・ホルンを購入予定です。</p> <p>○保育士研修は今、どのような研修をされていますか。又、研修の成果はどうですか？</p> <p>→（事務局回答）特別支援教育、人権教育、乳幼児期の発達、保小連携、園評価等を視点に幅広く行っています。ま</p>
---	---	---

		<p>た、人材育成について理解がすすみ、保育士一人一人がキャリアに応じた資質向上について意識を高めています。</p> <p>○園の経営マネジメントの確立はどのようにすすめられていますか。</p> <p>→（事務局回答）令和2年度試行した「南部町版保育士評価・育成制度」により、評価・育成制度が園経営・園目標とつながるものになりました。それに伴い、園の経営方針や取組指標等が明確になりつつあります。</p>
<p>4. 保・小中の連携を基盤としながら、地域や関連機関と協働した家庭教育の充実に取り組めます。</p> <p>(1) 子育てセミナーの充実</p> <p>(2) 親の学び・相談・仲間づくりとPTA活動の連携</p> <p>(3) アウトリーチ型個別支援の実施</p> <p>(4) 家庭や家族のあり方を考える場づくり</p> <p>(5) S S Wによる福祉との連携</p>	<p>○就学前の家庭への戸別訪問を実施されているとのこと、その取り組みは大変でしょうが、とても有難いことと思います。また、親の学びの提供はコロナ禍で十分に実施できなかったことと思いますが、いつでも相談できる体制をとっていただきたい。</p>	<p>○本町の状況に即したアウトリーチ型の家庭教育支援の体制・方法などを教えてください。</p> <p>→（事務局回答）事前アンケート調査結果「相談する相手がない（約1割）、他」に基づき、就学前児童家庭（全76家庭）を対象に基幹チーム員（教育委員会職員）7名と訪問支援員（地域人材）8名で家庭教育支援チームを構成し、二人一組で訪問し、子育て相談等を受けました。</p> <p>・就学前児童の家庭を訪問担当を決めて年度をまたいで3回（入学前の3月、入学後の6月、2学期末の11月）訪問しています。</p> <p>○南部町家庭教育支援チームの結成により、保・小中の連携に強い繋がりができたと思う。家庭訪問時の体制は。</p> <p>→（事務局回答）同上</p>
<p>5. 社会教育等関係施設を活用し、学び合い、つながり合う社会教育活動の充実に取り</p>	<p>○学習の成果を社会や他者のために活かすことが出来るものを増やす…は、公民館や社会教育の使命だと思う。</p> <p>○複合施設の活動に大きな期待をしています。</p> <p>○図書館の蔵書の鮮度は図書館の質に関わってくる。常に</p>	<p>○公民館運営審議会の方針として人材育成・団体育成に視点や重点を置くということですか？</p> <p>→（事務局回答）公民館運営審議会は、館長の諮問に応じて調査・審議を行っていただきます。南部町公民館は、「学</p>

<p>り組みます。</p> <p>(1) 「はんどん楽校」の充実</p> <p>(2) 公民館活動の発信と地域への学びの還元</p> <p>(3) 他地域との交流や働く世代への学習機会の提供等新たな学びの創造</p> <p>(4) 図書館ボランティアによる図書館づくりの促進</p> <p>(5) レファレンス強化と大人の図書館の拡</p>	<p>言っているが、計画的に積極的に揃えられており評価する。</p> <p>○ICT・GIGA スクールの中にあって「はんどん楽校」は貴重な存在と考えている。【「はんどん楽校」の発表会】などというものがあると面白いと思う。</p>	<p>ぶ」「集う」「培う」という基本コンセプトのもと人材育成・団体育成の推進を図っています。</p> <p>○（3）働く世代への学習機会の提供等新たな学びの創造…具体的な事業はどんなものが考えられていますか？</p> <p>→（事務局回答）若者を対象に、全国の様々な世代とつながるオンラインイベントを実施しました。また、保護者の方々を対象とし、子どもとの付き合い方を学べる講座を計画中です。今後もインターネットを活用して、学びの場の充実を図っていきたいと考えています。</p> <p>○いきいき生涯学習応援事業における参加会員の増加傾向を教えてください。</p> <p>→（事務局回答）令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大予防の観点で、例年よりも回数を減らしての開催しましたが、女性学級、高齢者大学ともに年々参加会員は減少傾向にあります。令和3年度は、双方の学習について相互乗り入れできるようにして、どちらにも参加しやすい工夫を図っています。</p> <p>○キナルなんぶができて、町民の動きとして何らかの変化があれば教えてください。</p> <p>→（事務局回答）コワーキングスペースなどを中心に、小中高校生、成人が多く利用し、親子の姿も見られます。一つの場所で、多世代の方が利用・交流されている。</p> <p>○複合施設「キナルなんぶ」ができたことで、今後の活用が期待されます。今後の活用方法について、わかっていることがあれば教えてください。</p> <p>→（事務局回答）「交流スペース」をはじめ、「社会教育」・</p>
--	---	---

		<p>「図書館機能」・「南部町の自然や文化を体感できる機能」をそなえた複合施設ですので、多世代の方の学び・情報・交流の場として活用し、また経済活動もできるような施設としてまいります。</p>
<p>6. 地域振興協議会と連携しながら、青年団体を核とする町づくりや地域課題の解決に取り組めます。</p> <p>(1) 地域振興協議会との連携</p> <p>(2) 高校生サークル及び新青年団の活動支援</p> <p>(3) 社会教育主事の養成</p> <p>(4) 社会教育委員のスキルアップと地域還元</p> <p>(5) 子ども会及び青少年育成町民会議の見直しと再組織化</p>	<p>○地域振興協議会との連携は絶対必要だと思います。</p> <p>○(5) 子ども会及び青少年育成町民会議の見直しと再組織化は必要だと思いますが、従来のものではなく、地域性や現状に合わせた柔軟な組織作りが必要かな?と思います。</p> <p>○「社会教育主事資格」を取得された者があった。現代社会では「社会教育主事資格」は多くの分野で必要と考えていた。有資格者が着実に増えていくことを願い、希望する職員には資格取得機会が多くあることを望む。</p> <p>○6.7 に関連して</p> <p>コロナ感染症の関係で協議会主催の行事等の多くが中止になっている。又、伝統行事の存続もその意義が問われている現状がある。</p> <p>今後公民館活動等（協議会・集落の行事・活動）はどうあればいいのか。</p> <p>○社会教育主事、社会教育委員の存在はとても大切なだけに、地域にしっかり顔の分かる存在になっていただきたい。</p>	<p>○旧地区公民館の活動との違いはどこでしょう？</p> <p>→（事務局回答）地域振興協議会は、住民自治の向上を図るため創られた組織であり、社会教育法にある公民館の役割をスライドしたものではありませんが、活動部等を通じて同様な役割を担っていただいております、その部分において連携を進めています。</p> <p>○(5) ⇒何か案がありますか？</p> <p>→（事務局回答）段階的に「家庭教育」「社会環境」といった分野も組み込んだ組織にしていくため、まずは、現行の青少年育成町民会議に子ども会を組み込む形で「青少年育成」分野における事業の連携と充実を図っていきます。</p> <p>○学校教育の現場に社会教育の視点が必要であるとよく言われます。社会教育主事（社会教育士）の養成について学校関係者（教職員）への研修等のアプローチは考えておられませんか。</p> <p>→（事務局回答）予算を確保し、アプローチはしているものの、講習期間が夏休みの約2週ということもあって、継続した派遣はできていません。H29 会見小教諭、H30 西伯小教諭を派遣しています。</p> <p>○昨年度も出ていた、青少年育成町民会議の見直を検討することについての進捗状況はどうですか。</p> <p>→（事務局回答）見直しをすることに変わりはありません</p>

<p>7. 里地里山に学びながら、郷土の歴史や文化を保存・継承し、町づくりや地域づくり、ふるさとの誇りづくりに活かします。</p> <p>(1) 法勝寺電車の有効活用 (2) 各種文化財保存会活動支援の充実 (3) 祐生出合いの館発信力の強化 (4) 指定文化財の維持管理</p>	<p>○(3) 祐生出合いの館発信力強化について、企画展など事業数も多く、メディアも活用して情報発信していると思うが、「板祐生」自身を発信する機会が少ないのではないのでしょうか。大昔、日本海テレビで「板祐生物語」を「子どもたちのメルヘン」というドラマ仕立てで紹介したことがあります。何か考えては？</p> <p>○ふるさとの誇りとは、町の美しさ、人のあたたかさが一番と思う。キナルなんぶには、企画課、教育委員会の職員が配置されているので、しっかり連携をして、町職員の先頭に立って町づくり・人づくり等に取り組んでいただきたい。</p>	<p>が、領域が広く進んでいない状況です。</p> <p>○7. (2) どう取り組めば良いのか？ →(事務局回答) コロナ禍ですが、活動ができない団体が多い中、工夫して活動を維持しておられる団体もあります。団体の活動支援については運営補助のほか、相談も受けています。また、文化財管理をされておられる集落・個人などについては令和3年度から補助の見直しを行ったところではあります。</p> <p>○町指定の文化財の管理については、補助金を出すことにより地域、所有者の責任において行われているのだと思いますが、その管理の状況については、把握されていますか。もし、管理が十分でないときは、何らかの手立てをされるのでしょうか。 →(事務局回答) 平常時より状況把握に努め、相談等適切に対応しています。</p>
<p>8. スポーツ環境の整備を図るとともに、スポーツを通じた仲間づくり、健康づくりを推進します。</p> <p>(1) 年少期のスポーツ環境の充実 (2) 体育協会の見直し (3) 中学校部活動と総合型地域スポーツクラブの連携強化</p>	<p>○(3) 中学校部活動と総合型地域スポーツクラブの連携強化による活動はまさに、学校教育と社会教育が青少年育成の両輪として機能するかどうかよくわかる取り組みだと思う。</p>	<p>○(3) ⇒大きな期待をしているのですが現状はどうでしょうか？ →(事務局回答) 令和2年度末で町体育協会を解散し、令和3年度からスポnetへマスターズクラブとして移行しました。その結果、児童から成年までの縦軸の体系ができましたので、今後中学校部活動との連携・関係を検討してまいります。</p> <p>○中学校部活動と地域スポーツクラブの連携強化の現状とその成果(効果)について教えていただきたい。 →(事務局回答) 同上。</p>

<p>9. 人権感覚を磨き、身の回りの差別や不合理に気づく地域学習、行動化につなげる啓発活動の充実に努めます。</p> <p>(1) ミカエルセミナーの充実 (2) 地域振興区別人権学習の充実 (3) 町内企業施設研修の支援 (4) 町民人権意識調査及び実態調査の実施分析 (5) 人権総合計画及び実施計画の策定 (6) 町人権会議の取り組み充実・強化</p>	<p>○あらゆる差別をなくす総合計画改訂事業の着手 ③改定する…行動化につながる計画になるといいですね。</p> <p>○9, 10 について</p> <p>町は充分に取り組んでいると思います。地域別人権学習の 充実をどの様に取り組めばと悩みます。</p>	<p>○昨年度から現在も、コロナ禍でセミナー等の学習の場を設定することが難しい状況にありますが、啓発活動の充実についてどのような対策や工夫を考えておられますか。</p> <p>→ (事務局回答) 令和2年度は開催回数を従来1回のものを2回で開催したり、人数を制限をしたりしながら啓発を行いました。令和3年度も可能な限りセミナー等は開催する方向です。</p>
<p>10. これまでの同和教育の歩みを踏まえ、地域や家庭と連携しながら保・小中一貫した人権教育の取り組みをすすめます。</p> <p>(1) 南部町 15 年人権プ</p>	<p>○学校教育と社会教育の両輪で推進ですね。</p> <p>○人権教育は幼少期からの積み上げが必要だと思います。社会教育・学校教育と家庭教育の連携をしっかりと進めていただきたい。</p>	

<p>プログラム(ミカエルプログラム)の実践</p> <p>(2) 保小中の保育・授業実践の交流と合同研修の実施</p> <p>(3) 隣保館と連携した地区学習会の充実</p>		
<p>11. 多岐にわたる教育課題の解決に資する教育委員会事務局、保育園・小中学校及び社会教育施設等の体制(支援態勢)を整備し、教育行政推進体制の充実を図ります。</p> <p>(1) 組織の充実・強化</p> <p>(2) 主要な教育課題への取り組み</p>	<p>○都会に出ている人から、南部町の教育環境はうらやましいと聞きました。教育委員会事務局のみなさんの力と思います。人づくり・町づくりをめざして今後も大変ですがしっかりお願いしたいと思います。</p>	<p>○教育の日事業が令和3年度の具体的な取り組みにはありませんが、継続せず、終了ですか？</p> <p>→ (事務局回答) 教育のつどいは令和2年度で終了いたしますが、教育の日としての取り組みは今後も継続してまいります。</p> <p>○ギガ・スクール構想について、ICT環境の整備を進めるとともに、児童・生徒を指導する教職員の研修が大切だと思います。ICT支援員の配置の他、その方策についてどのように進められているのか教えていただきたい。</p> <p>→ (事務局回答) ICT支援員による学校訪問型の支援、各校で中核を担う教職員への研修会、教職員に向けての情報提供、ICT活用の視点を盛り込んだ授業研究の推進及び支援等を行っています。</p>